

米づくり情報 第7号

令和4年8月12日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

本年産水稻の生育状況(8月12日)

移植日	項目		草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
	品種	年次					
6月17日	夢しずく	本年	94.7	321	13.8	36.1	[気象] 8月5日～8月11日まで ◆平均気温…平年より1.2℃高い ◆日照時間…長い(平年比117%) ◆降水量…多い(平年比197%) [生育] ◆草丈 「夢しずく」「ヒノヒカリ」でやや高く、「さがびより」「ヒヨクモチ」で高い。 ◆茎数 「夢しずく」「ヒノヒカリ」「さがびより」では少ない。「ヒヨクモチ」では多い。 ◆葉齢 「夢しずく」「さがびより」でやや進んでおり、「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」では平年並みである。「夢しずく」は8/12出穂走り(平年出穂期8/17)) ◆葉色 「夢しずく」では平年並み、「ヒヨクモチ」ではやや濃く、「ヒノヒカリ」「さがびより」では濃い。
		平年	89.9	399	13.2	36.8	
		平年比(差)	105	80	0.6	-0.7	
	ヒノヒカリ	本年	87.0	393	13.4	40.2	
平年		82.5	479	13.4	36.9		
平年比(差)		105	82	0.0	+3.3		
6月20日	さがびより	本年	84.9	410	13.8	38.6	
		平年	77.4	485	13.5	34.9	
		平年比(差)	110	85	0.3	+3.7	
	ヒヨクモチ	本年	80.4	653	13.7	37.6	
平年		71.4	618	13.8	35.7		
平年比(差)		113	106	-0.1	+1.9		
留意点	○ 「さがびより」(現在幼穂長:3.5mm)及び「ヒヨクモチ」(現在幼穂長:0.6mm)は穂肥の時期をまもなく迎える。穂肥診断に基づき施用する。 (標準的な穂肥時期:「さがびより」…幼穂長10mm、ヒヨクモチ…幼穂長1mm) ○ 水管理は、穂肥施用時の湛水管理を除き、引き続き間断灌水を行う。 ○ トビイロウンカ、いもち病、紋枯病の発生に注意し、的確な防除を行う。						

- 注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月17日移植の稚苗(播種期5/23、播種量 湿籾 180g/箱)
 「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿籾 180g/箱)
- 2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m²(65株/坪)
 「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m²(55株/坪)
 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m²(73株/坪)
- 3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。
- 4)概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。
 低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95～98、平年並み: 99～101、
 やや高い(やや多い): 102～105、高い(多い): 106以上。
- 5)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、 $\pm 1\sigma$ の外側にある年次を除く年次を対象にした、各項目の単純平均値。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品 種	基 肥	中 追	穂肥 I	穂肥 II	実 肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0(7/29)	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7/8)	3.0(8/5)	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0(8/12)	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0(7/13)	4.0	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

【農試作況圃場における幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成期(1mm)		出穂期	
	本年(平年差)	平年	本年(平年差)	平年
夢しずく	7/27(-1)	7/28	未	8/17
ヒノヒカリ	8/5(±0)	8/5	未	8/27
さがびより	8/7(-2)	8/9	未	9/1
ヒヨクモチ	未	8/14	未	9/6

